

文化交流ゾーンを構成する県立文化施設事業計画書の要旨

申請者名	公益財団法人三重県文化振興事業団
管理運営方針	<p>私たちは、平成4年の設立以来、県の文化振興をミッションとして、県内外の多様な主体と連携・協働しながら活動に邁進してきました。平成6年から24年間にわたり県総合文化センターの指定管理者（受託管理期間含む）として、培ってきた専門性やノウハウは私たちのかけがえのない有形無形の財産です。今後もこれらの財産を最大限に活かすとともに、新たな発想と持続的な改善活動を通して、県民の皆様が心の豊かさと安らぎを感じ、知的な刺激が受けられるよう、文化にふれる機会を多く提供します。私たちは、「みえ県民ビジョン」並びに「新しいみえの文化振興方針」をはじめとした県施策などを念頭に置き、県民が文化活動に参加・参画できる環境づくりを進め、県民の誰もが文化芸術を通じて幸福を実感できるよう、下記の総合的な基本方針並びに各施設の方針として文化振興を図ります。</p> <p><b>【総合的な基本方針】</b>            ①県民・利用者の満足度を維持向上させる高品質なサービス提供 ②安全・安心を最優先とした施設運営 ③文化振興を担う専門人材と、みえの文化を担う次世代の育成 ④誰もが利用しやすい施設づくりと利用者の公平性の担保 ⑤公益性と収益性を両立した安定的な財政運営 ⑥文化交流ゾーンによるシナジー効果を活かした魅力ある施設づくり</p> <p><b>【県総合文化センター方針】</b>            ①文化交流ゾーンの中核施設として、地域の人材育成を主とした様々な事業を展開 ②安全・安心を最優先とした施設運営 ③高品質なサービス提供による総文ブランドの定着</p> <p><b>【県立図書館・県総合博物館・県立美術館方針】</b>            ①安全・安心を最優先とした施設維持管理の運営 ②広報連携・事業連携による文化交流ゾーンの魅力向上</p>
管理業務に関する計画	<p>過去の管理経験を最大限に活かし、以下の基本的な考え方に沿って利用者に提供するサービスの品質、安全確保を高水準に保ちながら、最も効率よく維持管理を行うことを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全・安心を最優先とした施設運営を行い、最適な維持管理業務の管理及び監督を行います。</li> <li>・施設を清潔に維持し、徹底した省エネ運用等、全職員でコスト削減に努めます。</li> <li>・直営施工能力を最大限発揮するとともに、危険箇所の早期発見、早期解決に努めます。</li> <li>・3館（県総合文化センター、県総合博物館、県立美術館）の一体管理による運営を行います。</li> <li>・「危機管理マニュアル」の運用徹底と複数の危機管理訓練により対応力の強化を図ります。</li> <li>・個人情報の適切な管理、積極的な情報公開に努めます。</li> <li>・人権尊重社会の実現等、県の施策に配慮し、独自の方針・運用ルールを定め、様々な取組を実施します。</li> </ul>
運營業務に関する計画	<p><b>(1) 文化交流ゾーンにかかる広報等の事業</b>            ①「Mニュース」を始めとした既存のツール・ルートを駆使した効果的な情報発信            ②各館との事業連携による文化交流ゾーンのPR強化・周遊性の向上</p> <p><b>(2) 文化会館事業</b>            「beyond2020から節目の開館30周年へ！更に県民に愛され、誇りとなる劇場を目指して」            ①県民に愛され誇りとなる劇場づくり ②文化交流ゾーン連携と拠点機能の強化 ③アートの社会的効用の発揮            ア. 鑑賞型事業：企画力、広報・営業力、ホスピタリティで、新しい劇場ファンを創出します。            イ. 普及型事業：普及型公演から次世代人材養成事業、アウトリーチ事業まで多彩な普及プログラムを展開します。            ウ. 参加型事業：三重音楽発信事業で2つの大プロジェクトに取り組みます。            エ. 市町文化施設連携、レベルアップ支援：企画連携と人材養成事業で市町劇場を積極的にサポートします。            オ. 広報・PR活動の実施：紙媒体からマスメディア、SNSまで、徹底した広報活動と多彩なチケットサービスを展開。</p> <p><b>(3) 生涯学習センター</b>            「私の『学び』から地域の未来が輝きはじめる～人生100年時代の『学び』の提案～」            ①「学びたい！」から「学び高めあう」～「人生100年時代」に向けた新しい「学び」との出会い～            ②学びを活かし、つながる場の創出～生涯学習社会の実現に向けて～            ③「つながり、つなげる」学びのトータルコーディネーターとして～文化交流ゾーンを中心とした学習支援機能を果たす～            ア. 生涯学習機会提供事業：いつでも人と学びをつなぎ、継続し続ける環境を提供します。            イ. 生涯学習情報提供事業：各世代にマッチした情報提供ツールを活用し、情報をお届けします。            ウ. 三重の生涯学習ネットワーク事業：生涯学習によるつながりの輪を広げる「みえ生涯学習ネットワーク」            エ. 次世代育成事業：「みえの子どもたちに感動体験を！」を合言葉に学校向け文化体験推進事業を実施します。            オ. 視聴覚ライブラリー管理運営事業：県民の皆様にも効果のあるメディアの活用を提案</p> <p><b>(4) 男女共同参画センター</b>            「持続可能な社会へ！性差を超える、違いを活かす。さあ、次の“社会”へ」            ①フレンドみえは男女共同参画のトップランナーであり続けます ②種まきプロジェクト始動！これからの男女共同参画を担う次世代を育成します ③生きづらさを抱える、一人ひとりに寄り添える事業を展開します。            ア. 情報発信事業：情報を必要とする人に情報を届ける、幅広い広報手段で男女共同参画の情報をお届けします。            イ. 研修学習事業：男女共同参画に関する高い専門性と蓄積されたノウハウで、いま々々に必要なテーマの講座を提供。            ウ. 人材育成事業：これからの男女共同参画のために！県の拠点施設として、男女共同参画を理解し担っていく人材を育成します。            エ. 相談事業：性別ではなく“自分らしく”あるために。研鑽を積んだ相談員と専門家が問題解決をサポートします。            オ. 調査研究事業：男女共同参画のスペシャリストとして、社会の変化に応じた多様なテーマや課題に向き合います。            カ. 参画交流事業：多くの県民が集う、男女共同参画を身近に捉え考える事業を実施します。</p>

(5)-1 センターPR事業  
文化を身近に感じてもらい、総文ファンを増やします  
①広報誌 M ニュースの発行 ②ホームページの管理・運営 ③PRのための自主事業 ④ボランティアの活用

(5)-2 センターの利用増対策  
地道に、多角的な活動で相乗効果を生み出します  
①PRによる認知度向上 ②来館者サービスの充実による魅力的で利用しやすい環境づくり ③施設貸出サービスの充実による施設利用の活性化 ④活発な自主事業実施と文化交流ゾーン構成施設との連携による参加者の増大 ⑤多様な活動主体との人脈・ネットワークによる波及 ⑥きめ細やかに収集したお客様の声への反映によるリピーター増

(5)-3 施設稼働率向上策  
全国屈指の施設稼働率 さらに「信頼される施設」へ  
①空きスペースの活用 ②低稼働率施設の利用促進 ③利用手順の改善 ④広報営業の促進

(6) 貸館業務の手続き  
「よかった！」のその先へ  
①信頼に応える充実の「サービス」「サポート」 ②プロフェッショナルな人材による信頼の「品質」 ③三重の劇場をリードする信頼の「安全」「安心」 ④地域に必要とされる劇場ならではの取組みの充実

(7) 利用者の意見・要望の把握、管理運営への反映  
利用者・県民からの声を反映 ①事業運営に県民の声を反映 ②利用者からの各種アンケート回答の収集・改善活動

(8) 利用料金の設定や料金の收受方法・減免等  
①公益性と収益性のバランスを考慮した料金設定 ②電子マネー等多様な收受方法 ③非営利団体への減免措置の実施

(9) 施設の利用時間・休館日  
①利用時間：9時から21時まで（大・中・小ホール、リハーサル室：9時から22時まで）  
②休館日：月曜日、12月29日から1月3日

(10) 飲食サービス・物販サービス等  
①5つのレストラン・カフェ・売店を運営し憩いの空間を提供

(11) 来館者サービス向上につながる独自の提案  
①広域来館者サービス ②気軽にお茶文化を感じていただくサービス ③小さなお客様がいても安心のサービス ④インターネット環境を配慮したインフラサービス ⑤快適な環境を提供するサービス

業務分類	成果目標内容	単位	R2	R3	R4	R5	R6	募集要項 成果目標
			737,000	739,000	741,000	743,000	745,000	737,000 ～745,000
センター全体の運営	総合文化センター来館者数 (県立図書館来館者を除く)	人	737,000	739,000	741,000	743,000	745,000	737,000 ～745,000
	総合文化センター来館者満足度 (4段階評価で3以上)	%	90	90	90	90	90	90
貸館業務	総合文化センター貸施設利用率	%	80	80	80	80	80	80
	貸施設利用者満足度 (4段階評価で4)	%	83	83	83	83	83	83
文化会館事業	文化会館公演事業入場率	%	80	80	80	80	80	80
	文化会館事業参加者満足度 (5段階評価で4以上)	%	95	95	95	95	95	95
生涯学習センター事業	生涯学習センター主催事業 参加者数	人	18,100	18,200	18,300	18,400	18,500	18,500
	生涯学習センター事業参加者 満足度(4段階評価で4)	%	77	77	77	77	77	77
男女共同参画センター 事業	男女共同参画センター主催事業 参加者数	人	12,200	12,400	12,600	12,800	13,000	13,000
	男女共同参画センター事業参加者 満足度(4段階評価で4)	%	81	81	81	81	81	81
三重県総合博物館 三重県立美術館 三重県立図書館	美術館貸施設(県民ギャラリー)利用率	%	70	70	70	70	70	70
	総合博物館・県立美術館・県立図書館 との事業連携数	回	5	5	5	5	5	5
各施設	各施設の利用者率	%	基準値から5年間で1ポイント以上増					左記同率

収支計画  
東日本大震災以降の上昇傾向にある光熱使用料単価や働き方改革への対応、少子高齢化、消費税10%への引き上げ等の社会構造的な支出の上昇要因を加味し、文化振興等の根幹をなす各事業の支出額はキープしつつ、効率的な運営を行っていきます。さらに、貸館施設の新設による増収(予定)、企業協賛金等を含めた自己収入の獲得や各種助成金の獲得に最大限の努力を図ることで、適切な収支のバランスを確保していきます。

組織及び人員  
専門性やノウハウを持った人員により組織運営を行っていきます。キャリアアップしていく仕組みによる組織運営を行い、職員のモチベーションの維持向上を図ります。多様な職種構成を図ることと、業務実態にあった変形労働時間制の勤務ローテーションを導入することにより、最適な人員数で弾力的に運用していきます。職員研修では、内部研修、外部研修を効果的に実施するとともに資格等の取得推進も図り、専門的人材を引き続き養成してきます。

経営者：1名、総務部(企画広報・施設・組織の管理部門)：15名、施設利用サービスセンター(施設貸出部門)：19名、文化会館(文化事業部門)：13名、生涯学習センター(生涯学習事業部門)：11名、男女共同参画センター(男女共同参画事業部門)：11名 全70名(常勤：65名、非常勤：4名)※人材派遣職員除く

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	収入合計	1,469,150	1,497,150	1,499,950	1,503,150	1,506,450
内訳	指定管理料	1,144,400	1,168,500	1,168,500	1,169,000	1,169,500
	施設利用料金収入	155,000	155,600	156,200	156,800	157,400
	事業収入	79,000	80,500	81,500	82,500	83,500
	その他	90,750	92,550	93,750	94,850	96,050
支出合計	1,469,150	1,497,150	1,499,950	1,503,150	1,506,450	

※ A4版2枚以内としてください。